

# JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報

遵義堂

VOL.39

URL: https://dousokai.site/zezekoukou/ E-mail: zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp  
編集・発行/ 滋賀県立膳所高等学校同窓会 大津市膳所 2-11-1 TEL077-524-4295 FAX077-524-1732  
発行日/ 令和4年4月15日 印刷/ 株式会社サンエムカラー

巻頭エッセー	1
新入会員	1
令和4年度総会のお知らせ	1
令和3年度総会・講演会	2
令和3年度会員交流会	2
校歌の変遷について(続編)・現校歌「秘話」	2
班活動の今昔	3
周年同窓会・記念同窓会	3
周年・記念同窓会予告	4
同窓会事業のご案内・報告	4
会費納入について	4
会員名簿発行について	4
会務・会計報告・総会提出議案	5
膳所高NEWS・サクサク!	6
コロナ禍下の膳所高校・石鹿文庫	6

(同窓会HP)



## 巻頭エッセー



### 膳所高校のハビトウス

校長 富江 宏

令和3年4月から膳所高校に奉職させていただくことになり、微力ながら身の引き締まる思いで日々を過ごしてまいりました。この間、同窓会の皆様方には本校の教育活動に対して、物心両面にわたり御支援・御協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

私も本校の卒業生で、平成20年度まで16年間、本校の教員として勤めておりましたので、再び膳所高校のために働かせていただく機会を得て大変ありがたく存じます。本校には12年ぶりに戻ってまいりました。教員も大半が入替わり、浦島太郎のような心境でしたが、日々の生徒たちの様子や、班活動、湖風祭などに取り組む姿を一年近く見てきて、やはりこれが膳所高生だな、と実感する場面が多くありました。また、膳所高校独特の雰囲気といえますか、学校の「におい」や「たたずまい」は以前と変わらずそのままだと思います。さらに思い返せば、私が膳所高校を卒業

し、12年ぶりに教員として戻ってきました。時にも、自分の頃と同じような生徒たちの高校生活があると感慨を覚えたものです。

伝統校には、それぞれの学校独自の気質や行動様式があり、社会学ではそれをハビトウス (Habitus) と呼ぶそうですが、時代は移り、校舎は新しくなっても、膳所高校の長い歴史の中で醸成され、脈々と受け継がれているハビトウスは変わらずにあることを実感しています。

本校同窓会長の大神先生が校長でいらした頃に、このハビトウスを老舗の鰻屋さんのタレに例えられていました。鰻のタレは創業以来継ぎ足し継ぎ足しされて中身は変わっていきませんが、伝統の味は変わらずに引き継がれ、一級の素材にからめられて逸品の蒲焼を生み出します。

生徒は三年で卒業し、教員もしいに入替わっていきますが、膳所高校のハビトウスは、老舗のタレの味のように、変わらず継承されているのだらうと思います。

### 宝物のような時間

令和4年3月卒業 田中 和



### 新入会員

膳所高校で過ごしたこの三年間は入学前に思い浮かべていたものとは全くの別物でした。突然の休校。部活動の禁止。黙食。換気で寒い教室。湖風祭の規模縮小。修学旅行の中止。次々に日常は奪われていきま

日でした。私はバレーボール部に所属していましたが、一度もレギュラーメンバーに選ばれたことはありませんでした。どんどんとモチベーションや自信を無くしていききました。チームメイトとの意識や技術などの差に悩み、苦しかった時もありました。しかし、チームメイトたちに本音を言ってもらったり、泣きながら三年全員で自分たちの思いを打

ち明けたことで、みんなと同じラインに立つことができなくなりました。最後の試合には負けてしまいました。晴れやかな気持ちで締めくくられました。最後まで一緒に部活をしてくれた班のみんな、たくさん練習や試合を準備してくださり、支えてくださった先生方、ありがとうございます。残念なことには私達は修学旅行には行けませんでした。先生方のおかげで伊勢までの一泊二日の校外学習が凝縮された思い出になりました。また、湖風祭は、生徒会やブロック長を中心として、コロナ対策を徹底しながら一人ひとりが最大限の協力をしたことによって、感染者を出さずに今年ならではの特別なものになったと思います。

## 令和4年度 総会のお知らせ

会員皆様方の多数のご出席をお願いいたします。

令和4年度 定例総会 (懇親会は中止)

日時 令和4年5月15日(日) 午前10時

(午前9時30分受付開始)

場所 びわ湖大津プリンス・ホテル

大津市におの浜4-17-7

電話 077(521)1111

### 総会式次第

●議事 一、令和3年度会務報告・部会報告

一、令和3年度会計報告・会計監査報告

一、令和4年度事業計画・予算審議

一、その他

●講演 「書が僕に教えてくれたこと」

講師 神田 浩山 氏 (膳所高27回 昭和54年卒業)

### 講師のプロフィール



経歴 昭和54年3月 膳所高校 卒業  
昭和58年4月 滋賀県内にて教員、管理職として勤務  
平成14年3月 滋賀大学大学院 修了  
平成30年3月 書に専念すべく退職。浩山會を設立

### 要約

高校在学時の芸術選択は迷わず「美術」。大学の卒業論文は大伴旅人。卒業後は予定通り中学校国語科の教員として草津中学校に赴任。そんな私がいつの間にか世間で「書家」と呼ばれる人種に……。自分でも不思議なのですが、振り返ると「書道の神様」のお導きとしか思えないことが数々。決して優秀な膳所高生でなく、今も立派な人間とは言えない私がお話しさせていたたくのはおかげまじい限りですが、「文化・芸術分野の講師を！」とご指名により自分の来し方を振り返り、書を通じて私が学んだこと、出会った人々、滋賀の文化・芸術の現状についてお話しさせていただきます。思っています。

＜総会の開催について＞  
新型コロナウイルスの収束が見通せない中、状況次第で右記の予定も変更余儀なくされる場合も考えられます。今後の変更、ご連絡等は膳所高校同窓会HPにてさせていただきます。(表紙上QRコード参照) ご不便をおかけしますことをお詫びいたしますと共に皆様のご理解をお願いいたします。

# ◆令和3年度総会―講演会◆

## 『コロナウイルスを知り、感染を防ぐ』

講師 辻井栄作氏（膳所高26回 昭和53年卒）  
京都大学研究推進部ライフサイエンス担当

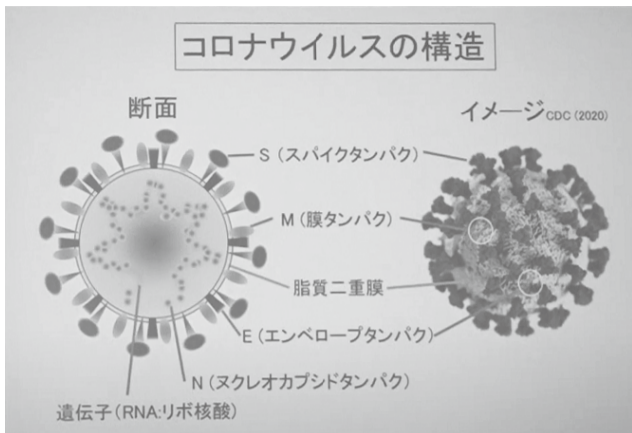
コロナ禍の影響を受け、二年連続で同窓会総会の実施を見送ることになってしまいました。しかしながら、今回の講演のトピックが「コロナウイルスを知り、感染を防ぐ」と正に今私たちが先ず知っておくべき内容であったこと、また母校膳所高校の現在の日常の活動も少なからず影響を受けていることも併せ、同窓会役員の研修を兼ねて、講師の辻井栄作先生に膳所高校視聴覚教室において講演をお願いしました。

また皆さんと情報の共有と、コロナ感染予防の啓発の一助になればとの思いから講演の様子を撮影し動画をHPにアップしました。QRコードより、是非動画をご覧ください。

講演の概要は以下の通りです。  
「コロナウイルスの直径は約0.1ミクロン、遺伝子はリボ核酸（RNA）で、ウイルス表面のスパイク（S）蛋白が、血管や肺にある受容体に結合して感染する。認可されたワクチンはこのS蛋白のmRNAを成分とする新しいタイプのもの、接種後に体内で作られるS蛋白への中和抗体産生や免疫応答を誘導する。現在、副反応に注意しつつ接種が進められている。RNAウイルスは複製の過程で変異しやすく、今後、変異株における感染力の变化に警戒が必要である。科学的な視点から、新型コロナウイルスと感染について概説する。（JUN GIDO 38号、講演要約より）」



講演会動画



# ◆令和3年度 会員交流会◆

令和3年度の膳所高校同窓会会員交流会は、三井寺（園城寺）を訪問し福家俊彦長史と山形蓮さんのご講演を企画しましたが、今般のコロナ感染拡大の影響により中止と致しました。しかしながら、貴重なお二人のご講演を、ぜひ会員の皆様に聞いて頂きたいと思ひ、ビデオ撮影をして、同窓会HPに掲載する事にしました。（QRコード参照）代替講演会&座談会の動画配信で見ることが出来ます。

1. 「寺の歴史的機能」 三井寺をもとに  
三井寺（園城寺）長史 福家 俊彦 氏  
（膳所高25回 昭和52年卒）
2. 「政所茶復興に向けた取り組み」  
政所茶生産振興会 理事 山形 蓮 氏  
（膳所高53回 平成17年卒）
3. 「三井寺茶と政所茶のお茶談義」  
の三部構成になっています。興味深い内容ですので見て頂きたいと思ひます。概要を示すと

1. 「寺の歴史的機能」 三井寺をもとに  
三井寺創建の背景、寺名の由来、三井寺の開祖と宗派等、歴史のお話から始まり、江戸時代の幕府から4600石（全国で9番目）の寺領を与えられ、豊富な経済力で学問や布教に専念し、お寺を維持するのに苦勞しなかつた。一方、寺領の小さい社寺は維持する為の資金が必要で経済活動が行われ、門前町が出来たので繁盛していく。ところが、三井寺はその必要が無かつたので門前町は出来ず、今でも宣伝が下手と言われているとの事。（笑）「寺院の歴史的機能」のお話では、当時、寺院は検断不入権（警察権・司法権が適応されない権利）があり、朝廷や武家でも口出しさせない世界であった。社寺とは、信仰や布教活動で人々の心の拠所と思ひがちだが、もとも社会的排除された環境の人々を援護し受け止める存在であったとの事。また、紙幣の起源や市場の形成、倉庫業など流通業、金融業など当時の俗世間では出来ない事を始めていた内容は興味津々であった。



2. 幻の銘茶「政所茶復興に向けた取り組み」  
新興住宅地、非農家育ち、コーヒー好き、日本茶は苦手の山形さんがどのようにして、幻の銘茶「政所茶」を復興させようとしているのか？そうさせる動機は何なのか？大学生時代にフィールドワークに没頭し、東北被災地へ調査と復興支援を行う中で、全てを流され失った土地だが、それでもここで生きて行く覚悟を決める人々を見て、「地域」に生きる事を考えさせられ、自分も地に足をつけて行きたいと考えた時に「政所茶」に出会う。先祖代々



守ってきた茶畑を絶やしたくないという高齢の生産者に「何か自分にも役に立てることがあれば」と地域おこし協力隊として政所に移住する。うまみを重視した茶作りの為、化学肥料が多く使用される中、政所では、在来種を守る産地として化学肥料や農薬を使わない従来法で生産をして行く。愛知川の下流の人たちに農薬の混じった水を流せないと、自分達の利益ではなく、誰かの為に苦勞を惜しまない生き方、考え方に共感。今、自分達の世代に欠けている点ではないか？そこを学び、次世代に繋いで行きたいと考える。

# ◆校歌の変遷について(続編)―現校歌「秘話」◆

校歌の変遷については、JUNGIDO 27号の膳所中学校にはじまり、28号の膳所中学校新校歌、29号の膳所高等学校、30号の膳所高等学校、31号の追遠歌と歴代校歌の変遷を掲載し、前号38号では滋賀県立大津高等学校OG会「ささなみ同窓会」の皆さんに当時の校歌と学校生活の思い出を紹介いただきました。今回は更に現在の校歌に関する「秘話」をお聞かせいただきました。

以下は、昭和34年（1959年）卒業田久聖さんおよび同年ご卒業の有志の皆様からのお話です。  
\*\*\*\*\*

岡田節夫先生や村田辰夫先生からお聞きした校歌の誕生のお話です。  
皆さまは、「混漢の湖」で始まる、あの校歌が制定されてから、今年で67年になることを「存じ」でしょうか、また、校歌の作詞者、作曲者をご存じでしょうか。校歌には、学校の歴史とともに、建学の精神や校風が詠み込まれています。

誕生の秘話・・・なんて言うほどでもありませんが、校歌の制定は、昭和28年（1953年）に生徒会からの申し出を受けて、まず、校歌選定委員会がスタートし、その後先生方や生徒の皆さんの間で、「校歌の募集」と「応募作品の審査」が何回となく繰り返されたこと聞いています。「混漢の湖」の校歌は、原歌詞が松山義夫先生、原曲は青久美子先生で、お二人から、それぞれ「たき台」として提示され、最終的に昭和30年（1955年）に今の形になったようです。そしてメロディを付けデビューしたのが、翌

をPR。2017年には地元生産者の次世代の方々との生産者組合を設立、情報交換の場としている。政所茶復興の取組のお話でしたが、山形さんの自然を愛し、自然と共に生きて行く人生論を聞かせて頂いたように思ふ。

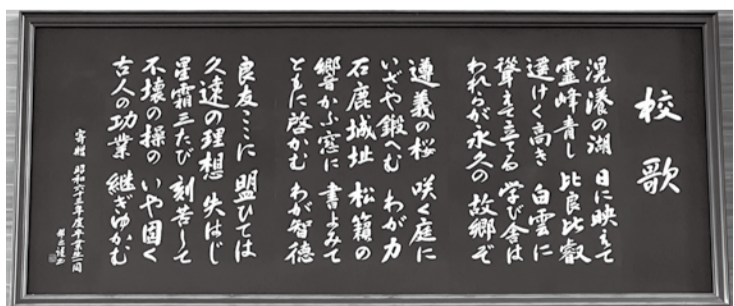
3. 「三井寺茶と政所茶のお茶談義」  
近江とお茶についての興味深いお二人のお話でした。お茶をつくるに当たり、多くの関連する仕事や人々がいる。近江商人の「三方よし」に繋がる。また、最近よく言われる、持続可能な社会の創出、SDGsの考え方は、日本には古くから存在していて、実践してきている旨のお話はその通りと賛同した次第であった。



会員交流会動画

昭和31年春のセンバツ初出場の甲子園だったということ。全国や県下の高校でも、有名詩人や作曲家が手がけた校歌がありますが、先生方と生徒の皆さんとの「合作方式」での制定作業は珍しいと思ひますので、これは、誕生の秘話としてもよいと思ひます。

こうした背景から、先生方の希望もあって、校歌選定委員の先生方全員と応募された生徒の皆さん全員の「合作」と言うことで、卒業アルバム等（校歌の欄）に個人名を出さないようにされていたと伺いました。  
このように先生方と先輩方の想いが込められ、全国的にも珍しい「合作」の歴史を刻んだ「混漢の湖」の校歌の裏に隠れた想いや歴史を、在校生を含め、時に校地を訪れる同窓生全員に語りかけ教える歌碑を建立できないかとの声が出始めております。



120周年記念 特別ムービー(校歌)

# 班活動の今昔

## ●新聞班

### 「私たちは伝えなければならぬ」

2年 佐藤留乃  
1年 白井和湖

「私たちに伝えなければならぬことがある」。膳所高校新聞班としての矜持は、まさにこの思いにこそ存在します。その根底が膳所高校の校訓である「遵義力行」の精神であることは間違いありません。遵義とは、誠意から、真理と正義を探究し、森羅万象への貢献を誓う決意表明であり、力行は、「自主・自律の精神を尊び、心身の鍛錬と共に高邁な理想に向かうこと」という意味です。現在の班員は3年生1人、2年生1人、1年生1人と確かに少ないものですが、大切なことを伝える思いの強さは、他校の新聞部に勝るとも劣らずの誇りを持っています。コロナ禍の中、取材活動も難しく、制約の多い班活動になりましたが、決して負けずに、新聞班はこの思いを胸に日々活動を継続していきます。

昨年は第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会が、愛すべき故郷の滋賀で開催されました。滋賀で開催されるのは10年に1回という記念すべき祭典です。本校新聞班も参加し、近畿地区の他校との親睦を深め、貴重な体験ができました。交流会では、他校の実力と新聞における内容の深さに驚嘆し、深く感銘を覚えました。もちろん膳所高校新聞も負けてはいません。新聞と言えは膳所高校と言つてもらえるような新聞班に、必ず成長すると約束します。

来年度に向けての一番の課題はやはり一人でも多くの新聞班員の獲得です。そのためには顧問の先生にお任せするだけではなく、生徒自ら自立することが肝要であると考えています。高校生である自分たちの力でジャーナリズムの基礎になる部分を確立していかなければならないとの使命感を持っていきます。取材を通して礼儀を学び、記事を通じて文章力や表現力を磨き、コンピュータースキルなどの新しい技術を習得し、新聞班



新聞を校正する 左1年生白井和湖さん 右2年生佐藤留乃さん

員としての能力の向上に努めます。目標として将来的には学校内だけでなく、O Bの皆様や地域のの方に愛される新聞の発行を目指します。今後とも膳所高校新聞班の応援を何卒よろしくお願ひいたします。

## ●空手道班

空手道班 班長 樋渡悠聖

空手道班は、現在1年生5名、2年生2名の計7名で活動しています。そして春季、秋季大会で、インターハイや近畿大会、全国選抜大会への出場を目指し、また、夏季の県民体育大会での優勝を目指して日々稽古に励んでいます。

空手道は、相手を想定して一人で技の攻防を繰り返す形と、実際に一対一で相手と対峙し、コートの中で自由に技の駆け引きを行う組み手に分かれます。また、高校空手の中で代名詞と言われる団体形、団体組手はどちらも迫力があり、凄まじい盛り上がりを見せます。特に全国大会レベルになると、初めて空手道を観る人々をも圧倒する力を持つているだろうと思います。

しかし、現在は新型コロナウイルスが猛威を振るい、大会が中止、縮小されたり、応援が禁止されたりして、全てのスポーツに言えることではありますが、空手道も盛り上がりや失ってしまいました。組み手に関しては、相手と接触することが多いことから、練習自体も規制されてきました。我々膳所高校空手道班は、班員数が少ないです。しかし、コロナ禍の中で、班員が少ないが故の空手道班の強みが見えてきたと感じます。班員が少ないからこそ、迅速なコロナ対応ができ、様々な情報を早く共有できています。これは稽古の中でも生かされており、長時間の稽古ができなくても数多くの練習メニューを取り入れることができます。したがって、班員一人一人の稽古の質が高くなっています。また、稽古に対する意識の伝播は早く、班員全員が高い意識を持ちながら、大会や練習試合に向けて同じベクトルで稽古に励むことができます。

その結果、コロナ禍の中でも実力をつけ、良い実績を残すことができました。実際、『輝け君の汗と涙 北信越総体2021 令和3年度全国高等学校総合体育大会』や『令和3年度全国高等学校選抜大会』への出場をし、秋季大会では三十数年ぶりに男子団体形で優勝を果たしました。これは、少ない班員数であることを生かして練習に取り組ん



近畿高等学校総合文化祭滋賀大会・長浜取材 (令和3年11月)

だ結果だろうと思います。

しかし、近畿大会では人数制限がなされていたものの、会場の熱や強豪校の迫力に圧倒されました。我々膳所高校空手道班は、個人形・個人組手・団体形の三種目に出場しました。個人種目や団体種目、どちらにおいても試合慣れしていないという現状が顕著に表れており、特に県外での公式試合の経験が初めての一年生にとっては試合の中で自分の実力を最大限発揮する余裕はなかったように感じます。近畿大会で上位に入る高校はやはり、人数が多くとっても活気づいていたように感じました。よって、県大会を突破した後も勝ち進んでいけるように、少ない班員数でも明るく、勢いのある膳所高校空手道班を目指して努力していきたいです。



空手道班 武道場での練習風景

## ●馬術班

馬術班 班長 木村咲樹

私たち馬術班は3月現在、2年生6人、1年生4人、馬八頭の計18人で琵琶湖乗馬倶楽部で水曜日から金曜日の放課後、土曜日と日曜日の午後に活動しています。

馬術には二種類あって、決められた演技の美しさを競う馬場馬術と障害物を飛び越えて速さを競う障害飛越があります。私たちは普段からどちらも練習していて、大会では自分の好きな競技に出ることが出来ます。また、馬術には男女の区別がなく、どちらも同じ表彰台に立ちます。そのため、班員は男女ともに仲が良く、お互いに意見を交換しながら、切磋琢磨しています。

令和3年度の活動成績は、7月19日から21日に静岡県御殿場市で開催された全日本高等学校馬術競技大会の団体戦でベスト12に入り、同じく8月11日、12日に北海道苫小牧市で開催された全日本高等学校馬術選手権大会の個人戦にも出場しました。

雨の日以外は毎日馬に乗って練習をしていて、倶楽部のインストラクターの方に指導していただいています。また、週に2回ほど、外部のコーチの方々にも練習を見てもらっています。長期休みには先輩方も見に来てくださって、乗馬の技術はもちろん、大学の馬術部の話や、受験のこと、日々の相談にものってくださいます。雨の日は、みんなが勉強会を行ったり、普段の活動で使う道具の修理、冬場に

は新割りなどをしていきます。乗馬だけでなく、沢山の貴重な体験をすることが出来ます。

馬術の魅力はやはりパートナーが人ではなく、馬であるということだと思います。馬は言葉をしゃべることができません。そのため、コミュニケーションを取ることは難しいです。しかし、注意深く馬の動作を見ているとだんだん馬語がわかってきます。馬は人間の3歳児ほどの知能があると言われていますが、毎日一緒にいると、そのことを改めて実感します。いつも強がっているのに、小さな犬が走って来ただけでパニックになったり、ニンジンを持っていないとじっと扉の影から目を輝かせながら見たり、満腹になりゴロンと横になってスースー寝息を立てながら昼寝をしていたり、いたづらをして怒られてしょんぼりしたり、いつも5時半ごろになるとお腹すいたから早くエサをちょうだいと大騒ぎしたり、体は大きいけれど中身は幼い子供のように見えているだけでほっこりします。特に、テストが終わり、久しぶりに馬たちの温かさに触れると、それまでの疲れが一気に吹き飛びます。

この二年間、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて多くの大会、学校行事が縮小、中止になり、色々と制約の多い高校生活となりました。しかし、馬術班で過ごした日々は私にとってかけがえのない宝物です。残り少ない部活動、最後に笑顔で終わるよう、日々の積み重ねを大切にしつつ、めいっばい楽しみます！

最後に、いつも練習を見に来てくださるOB、OGの皆様、ありがとうございます。これからも膳所高校馬術班の応援、よろしくお願ひいたします。



馬術班 琵琶湖乗馬倶楽部での練習風景

# 周年同窓会

## 30周年記念同窓会

(膳所高40回 平成4年卒業)



2022年1月8日(土)。当日は曇一つない晴天に恵まれ我々1992年度卒の同窓会を天が祝福するかの様でした。当日は私や出席者全員期待に胸を膨らませ母校近くのびわ湖大津プリンスホテルに参集したと思います。我々世代は卒業後、オリンピック年(4年に1回)に開催しておりましたが、会を催す毎に参加者が減ってきたこともあり、50歳以降での開催を当初検討しておりました。

今回は30周年と区切りも良かった為、2021年10月に同窓会を開催する運びで準備を開始しましたが、世間では新型コロナウイルスの真つただ中、到底実施出来る可能性はななく一旦仕切り直しとしました。

新型コロナウイルスの不安は払拭されない中、1月開催に延期するもオミクロン株の猛威が広がりにかけている現状本来ならば再延長が望ましいところではありましたが、今回の目途も中々立て辛い状況下でありましたが、今回を逃すと次はない!という覚悟で感染予防を最大限に配慮し開催することとしました。

県を跨ぎ戻ってくる同期が多いこと、丁度我々世代の子供が受験年齢に達しており受験前での参集に抵抗感がある等の諸事情が原因で、予想はしてはいたりましたが、当初の出席予定人数の4分の1以下となつてしまいました。

そんな参加状況下の中、何年ぶり、何十年ぶりに会う仲間は月日の悪戯か、どこか頭の中にあつたイメージと違う容姿、声を掛け話すとタイムカプセルに乗つたかの様に30年前にタイムスリップ!!互いに昔の容姿をイメージし語りあつたと思います。

本当に楽しい時間はあつたと言つた間に過ぎると言います。2時間の会も瞬く間に終了。幸い出席者全員、新型コロナウイルス感染者になることなく無事会を催せました。次回いつ開催出来るかは今後の情勢次第ですが、膳所の学び舎で共に人生のモラトリアム時代を過ごした仲間との貴重な時間は49歳を目前としている我々には人生をもう一度謳歌させる何かのエッセンスであると感ずるばかりでした。(川嶋 進)

# 記念同窓会

## 新成人記念同窓会

(膳所高68回 令和2年卒業)



令和4年1月10日、びわ湖大津プリンスホテルにて、令和2年度卒第68回新成人式同窓会を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大後初めての同窓会となりましたが、330人の卒業生が一堂に会し、盛大に成人を祝うことができました。惜しくも先生方の対面での出席は叶いませんでしたが、オンラインでご出席いただき生徒との会話の時間が設けられました。

十分な感染対策のもと、円卓を囲んで食事をしながら友達と時間を忘れて談笑し、大いに盛り上がりました。新型コロナウイルスの蔓延により個人の活動が制限されていただけに、苦業を共にした仲間とこうして対面で再開することの喜びはより一層大きなものとなりました。5周年同窓会は、先生方をお呼びして開催できることを願っています。出席してくださった先生方、68回生の皆さん、同窓会理事、プリンスホテルのスタッフの方々、ありがとうございました。(小川隼平)

### 周年記念同窓会 予告

#### 60周年記念同窓会 (膳所高9回 昭和36年卒業)

日時 現在は未定 落ち着いたら開催。3か月前のご案内します。  
連絡先 松村文夫 (TEL090・3658・6639)

#### 55周年記念同窓会 (膳所高15回 昭和42年卒業)

日時 令和4年(2022)9月27日(火)  
13時30分~19時二次会  
場所 びわ湖大津プリンスホテル 3階プリンスホール  
会費 10,000円を予定(2次会含)  
連絡先 沢井進一 (TEL090・7882・9463)  
岩崎正康 (TEL090・5125・2700)

#### 50周年記念同窓会 (膳所高19回 昭和46年卒業)

日時 令和4年(2022)7月2日(土)  
12時受付~13時開宴  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
会費 10,000円  
連絡先 三元辰吉郎 (TEL090・3971・8329)  
水谷 正 (TEL090・1891・0527)

#### 50周年記念同窓会 (膳所高21回 昭和48年卒業)

日時 令和5年(2023)1月3日(火) 12時~  
場所 琵琶湖ホテル  
会費 10,000円(程度)  
その他 コロナウイルス感染症の状況により、延期、中止等変更が生じることをご理解頂きます様、お願い致します。

#### 45周年記念同窓会 (膳所高25回 昭和52年卒業)

今回の開催は見送り、次回、50周年の開催を予定

#### 35周年記念同窓会 (膳所高34回 昭和61年卒業)

コロナ禍により昨年度から延期で実施予定  
日時 令和5年(2023)1月8日(日)  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
会費 未定  
連絡先 世古 学 (TEL090・5823・0269)  
今村拓也 (TEL090・1147・2605)  
Mail: linanura@k-boat.co.jp

#### 35周年記念同窓会 (膳所高35回 昭和62年卒業)

日時 令和5年(2023)1月3日(火)  
11時30分受付12時開宴  
場所 クサツエストピアホテル 2階 瑞祥の間  
連絡先 世古 誠 (TEL090・8655・0925)  
Mail: m-seko@nikeeone.jp

#### 10周年記念同窓会 (膳所高61回 平成25年卒業)

日時 令和5年(2023)1月2日(月)  
13時~15時  
場所 琵琶湖ホテル  
会費 10,000円前後  
連絡先 國松拓実・Mail: vor\_taku@cloud.com

#### 5周年記念同窓会 (膳所高65回 平成29年卒業)

コロナ禍により昨年度から延期で実施予定  
日時 令和5年(2023)1月7日(土) 12時~15時  
変更の可能性有  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
会費 未定  
連絡先 柴 悠人 (TEL090・2048・8288)  
Mail: ramback0621@cloud.com

#### 新成人記念同窓会 (膳所高69回 令和3年卒業)

日時 令和5年(2023)1月9日 13時~17時  
場所 びわ湖大津プリンスホテル プリンスホール  
連絡先 近藤 慶佳 (TEL070・4145・7258)

### 同窓会事業のご案内

#### ①第27回膳所高校同窓会ゴルフコンパ

日時 令和4年9月19日(月・祝)  
場所 所・メイプルヒルズゴルフ倶楽部  
甲賀市信楽町田代65  
スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート  
競技方法 ダブルベリア方式による18ホールストロークプレー  
プレー費 キヤディ付 14,000円  
セルフ 10,500円  
会費 2,500円  
定員 40組

#### ②会員交流会

令和4年10月中下旬に計画予定。  
8月以降、膳所高校同窓会ホームページに掲載予定  
(または同窓会事務局へお問い合わせください)  
※①②共、同窓会の年会費納入者に限定させて頂きます。  
参加当日 納入も可能です。

### 令和5年版会員名簿発行のお知らせ

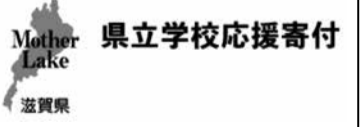
令和5年5月下旬発行(予定)・A4版

この度、5年ぶりに会員名簿を発行することになりました。令和4年8月頃より、会員の皆様には名簿掲載内容の確認はがきや名簿購入の案内を発送して作業を進めてまいりますので、名簿のご購入、広告のご掲載にご協力をお願い申し上げます。



※確認はがきイメージ

(名簿作成委託先)  
名簿作成は、正式な同窓会事業として、前回同様にプライバシーマークの取得の株式会社サラト(兵庫県姫路市)に委託しております。



### ふるさと納税 「県立学校応援寄付」で 母校を応援できます

ふるさと納税の用途指定で希望する学校に寄付することができます。



QRコードから、説明、申込みのページに入れます。

### コンビニで簡単納入! スマホ決済もスタート! 年会費納入のお願い

令和4年度会費を同封の振替用紙にてコンビニまたは郵便局でご納入いただきますようお願いいたします。振替用紙が入っていない方は、会費を前納されている方です。

会費は年額2,000円となっておりますが、5年(10,000円)分まとめてご納入いただければ幸いです。



ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

・コンビニでの振り込み、および郵便局でゆうちょ口座の通帳またはカードで納入の場合は、皆様に手数料はかかりません。(それ以外の納入方法の場合、皆様に手数料がかかる場合がありますのでご注意ください)

# 令和3年度同窓会会務・会計報告・令和4年度同窓会総会提出議案

## ◆令和3年度 同窓会会務報告

### 2021年(令和3年)

4月 21日	JUNGIDO第38号発行(27,272部発送)
28日	令和2年度同窓会会計監査(同窓会事務局)
5月 1日	第1回役員会(セミナーハウス遠桜館 研修室)
16日	令和3年度同窓会総会(大会議室) 中止 第1回臨時役員会(大会議室)、辻井氏 講演ビデオ撮影
6月	
7月 3日	第2回役員会(選択教室)
8月	
9月 18日	第3回役員会(セミナーハウス遠桜館)
20日	第26回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部) 中止
10月 23日	第7回会員交流会「三井寺(園城寺)長史・福家俊彦氏の法話とお茶を楽しむ」中止 福家氏・山形氏 講演ビデオ撮影
11月 5日	会費納入再度のお願い
6日	第2回臨時役員会(同窓会事務局)
12月	

### 2022年(令和4年)

1月	
2月 12日	第4回役員会(大会議室)
28日	同窓会入会式
3月 1日	第70回膳所高等学校卒業式(令和3年度)
13日	第3回臨時役員会(セミナーハウス遠桜館)
26日	令和3年度同窓会理事会(大会議室) JUNGIDO第39号編集会議

### 令和3年度開催 周年・クラブOB会

<b>&lt;周年同窓会&gt;</b>			
令和3年	8月	14日	新成人記念同窓会(平成31年卒) 中止
	10月	10日	60周年記念同窓会(昭和35年卒) 延期
		31日	45周年記念同窓会(昭和50年卒) 延期
令和4年	1月	2日	35周年記念同窓会(昭和60年卒) 中止
		〃	30周年記念同窓会(平成3年卒) 延期
		〃	15周年記念同窓会(平成19年卒) 中止
		8日	30周年記念同窓会(平成4年卒) びわ湖大津プリンスホテルにて30名
		10日	新成人記念同窓会(令和2年卒) びわ湖大津プリンスホテルにて330名
	2月	12日	40周年記念同窓会(昭和56年卒) 延期
	3月	27日	50周年記念同窓会(昭和46年卒) 延期
			60周年記念同窓会(昭和36年卒) 延期
	4月	4日	65周年記念同窓会(昭和32年卒) 無期延期
<b>&lt;クラブOB会&gt;</b>			
令和3年	7月	18日	第9回膳所高等学校吹奏楽班OB合同演奏会 延期 (現役生のみ発表会開催)

## ◆令和3年度 同窓会会計中間報告(令和3年4月1日～令和4年2月28日)

### 一般会計 《収入の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	5,585,120	5,585,120	0	
前受会費(2年度分)	4,370,000	4,370,000	0	会費会計より振替
令和3年度会費	4,000,000	4,159,000	159,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,332,000	1,278,000	△54,000	新規同窓会入会金 426名
名簿会計・特別会計より繰入	-	0	0	
雑収入	50,000	18,539	△31,461	受取利息、クーポン代、寄付等
合計	15,337,120	15,410,659	73,539	

### 《支出の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
総会費	800,000	30,000	△770,000	総会(中止)、オンライン議決
会議費	150,000	36,334	△113,666	役員会、理事会
交際費	30,000	8,240	△21,760	
通信費	880,000	873,061	△6,939	会費納入手続、総会、理事会等
旅費交通費	50,000	31,160	△18,840	役員会等
支払手数料	500,000	381,186	△118,814	会費納入手続、各種手数料
雑給与	1,400,000	1,091,560	△308,440	
コンピューター関係費	40,000	27,500	△12,500	ソフトメンテナンス料
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	サーバー運用費
事務用品費	55,000	26,567	△28,433	コピー用紙他
備品・消耗品費	120,000	113,357	△6,643	複合印刷用紙他
広報発行費	1,200,000	1,111,994	△88,006	[JUNGIDO] 38号発行
広報発送費	2,300,000	2,165,442	△134,558	広報封入封緘、広報発送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	特別講座・グローバル研修助成等
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	文化班・体育班活動支援
慶弔費	50,000	0	△50,000	
周年同窓会祝い金	1,000,000	160,000	△840,000	周年同窓会4件
各部会費	700,000	277,068	△422,932	
広報部会費		0		
事業部会費		103,028		ゴルフ中継費、オンライン議決支給
総務部会費		174,040		会費納入再依頼
特別会計に振替		3,000,000		
予備費	3,897,320	0	△3,897,320	
合計	15,337,120	11,498,269	△3,838,851	

差引現在残高 3,912,390 (15,410,659-11,498,269)

### 特別会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	7,089,609	
寄付	1,030,000	卒業生より
一般会計から振替	3,000,000	
利息	60	
合計	11,119,669	

### 《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	440	
合計	440	

差引残高 11,119,229 (11,119,669-440)

## ◆同窓会財産目録 (R4.2.28現在)

### I 一般会計及び会費会計 合計

◇郵便局	◇滋賀銀行	
郵便貯金 1口 7,112,161円	本店営業部 普通預金 367,053円	
郵便振替 1口 2,888,011円	膳所支店 普通預金 7,260,840円	
◇コンビニ入金分 0円		
◇手許現金 61,325円	計 17,689,390円	

### II 特別会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 11,119,229円	計 11,119,229円
-----------------------------	---------------

### III 名簿会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 44,452円	計 44,452円
-------------------------	-----------

### 会費会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	12,494,000	R2年迄の前受金
令和3年度会費	4,159,000	当年度分
前受会費	5,653,000	R4年以降分の会費
合計	22,306,000	

### 《支出の部》一般会計へ振替

項目	金額	備考
令和3年度会費	4,159,000	当年度分の会費
令和3年度分前受会費	4,370,000	R2年迄の前受金から
合計	8,529,000	

差引残高 13,777,000(22,306,000-8,529,000)

### 一般会計及び会費会計現在残高 17,689,390

一般会計現在残高 3,912,390 + 会費会計現在残高 13,777,000 = 17,689,390

### 名簿会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	36,892	
名簿売上金	8,000	
合計	44,892	

### 《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	440	
合計	440	

差引残高 44,452(44,892-440)

## 令和4年度 事業計画(案)

同窓会会員相互の交流・親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

同窓会では、同窓会の安定的運営の根幹となる会費の納入率の向上に努め、高齢化の進む中で、より多くの情報発信のための広報紙の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化を行い、同窓会活動を充実してまいります。

また、会員のコロナ禍における感染防止、安全に十分配慮した対応を検討します。

○総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等を必要に応じ開催します。母校との連携・協議を積極的にするとともに、各部会への協力、調整を行います。同窓会活動をすべての年齢層に浸透させる方策等を検討します。

○事業部会 総会時の講演会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修会等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校の後援会活動、文化班・体育班活動の奨励に努めます。

○広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実にも努めます。

○財務部会 健全な同窓会会計の確立のため、同窓会会費の納入促進に努めます。

○その他 BYOD 端末導入に関する「学生支援特別基金」の運営

事務局 会員との情報交換、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への納入依頼、地域・職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理等を行います。

ホームページアドレス <https://dousokai.site/zezekoukou/>

メールアドレス [zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp](mailto:zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp)

# 第70回卒業式



令和4年3月1日、本校体育館において、「第70回卒業証書授与式」が行われました。普通科389名、理数科36名、計425名が新たに膳所高等学校から第七十期生として巣立っていきましました。

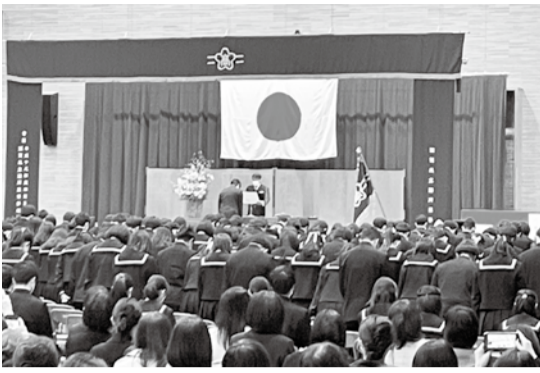
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、卒業生とその保護者の皆様、教職員のみが参列する式とさせていただきます。また、証書の授与は普通科、理数科の代表生徒のみとし、国歌、校歌、卒業生の歌の際には扉を開けて換気を行うなど、様々な対策を行いながらではありますが、温かな雰囲気の中で、卒業式が滞りなく挙行されました。

富江宏校長は式辞の中で、長い休業期間や修学旅行の中止、班活動の制約など、様々な困難や理不尽さに直面してきたことに触れ、その中でも課題解決に向け、仲間と議論し協働して力を合わせ、納得解を見出し、困難を乗り越えてきた経験は、これからの人生においてもきつと皆さんを支えてくれるに違いないと激励されました。

「卒業生の言葉」では代表の山崎結衣さんが、学校生活の困難の中、ご尽力いただいた先生方、どんな時も支えてくれた家族、何事に対しても全力を注ぎ姿を見せてくれた仲間への感謝の気持ちから述べられました。その後、大本佳蓮さんの伴奏のもと卒業生全員で「旅立ちの日」を合唱し、会場に見事なハーモニイが響きました。そして、卒業生は拍手を受けながら、式場をあとにしました。

これに先立ち2月28日には、同窓会入会式が行われました。大崎悦男会長から歓迎の言葉と、卒業生に贈られた「同窓会バッジ」のデザインについての説明が、山下記營総務部長から同窓会の活動紹介と入会後のお願いがありました。学年代表理事の松本啓汰さんをはじめ、各クラスの仕事が紹介されました。ここから末永く、同窓会を前向きに支えてくれることを願っています。

卒業生の今後の益々のご活躍を祈念いたします。  
(教頭 山田喜明)



## 班活動報告

2021年度 全国レベルの大会結果

**ヨット**  
全国高等学校総合体育大会  
女子コンバインド6位 古田愛佳・三田村風香・笹島菜花  
男子コンバインド8位 中村諭心・城毅・大島尚也・外園康陽・上中惇郎  
国民体育大会 出場決定(大会は中止)  
城毅・三田村風香・大島尚也・外園康陽・笹島菜花・上中惇郎

**空手道**  
全国高等学校総合体育大会 出場  
樋渡悠聖(男子個人形・松前遥香(女子個人組手)

**ボート**  
全国高等学校総合体育大会  
女子ダブルスカル5位 藤田華子・橋本結菜  
女子舵手付クォドルプル 出場  
林かなで・後藤結美・高岸南海・高間楓・細木美鈴  
男子舵手付クォドルプル 出場  
横畠颯・大隈裕太・清水瑛俊・河崎聖・北岡侑真

**馬術**  
全日本高等学校馬術競技大会 団体ベスト12  
庄山輝紗・馬場有透・松岡遼  
全日本高等学校馬術選手権大会 個人 出場 馬場有透

**放送**  
NHK杯全国高校放送コンテスト  
テレビドキュメント部門 準々決勝 頼近絆乃・諸原由衣・田口真帆  
全国高等学校総合文化祭 放送部門 優秀賞 頼近絆乃・諸原由衣・田口真帆  
ビデオメッセージ部門 優秀賞 頼近絆乃・諸原由衣・田口真帆

**書道**  
全国高等学校総合文化祭 出場 今村彰太  
近江神宮全国読書大会 文部科学大臣奨励賞 森本すず  
倉掛志帆・原しほり・岡航平・小島芽冬・井上真維・森岡麻衣

**合唱**  
声楽アンサンブルコンテスト全国大会 出場  
内田優月・奥村悠・鶴岡優月・長谷川琴里

**弁論**  
全国高等学校総合文化祭 出場 渡邊春和  
全国中学・高校ディベート選手権 出場  
日名子美咲・永芳楓・佐野翼・喜多碧・渡邊春和・山西瑛太

## サクラサク!

### 主要大学合格者数

(主な国立大学)		(主な私立大学)	
旭川医大	1名	名古屋工大	3名
帯広畜産大	1名	滋賀大	10名
北海道大	6名	滋賀医大	12名
東北大	1名	京都大	41名
筑波大	3名	京都教育大	4名
埼玉大	1名	京都工芸繊維大	20名
千葉大	1名	大阪大	46名
東京海洋大	1名	神戸大	38名
お茶の水女子大	1名	奈良教育大	1名
電気通信大	1名	奈良女子大	3名
東京大	2名	鳥取大	1名
東京工業大	2名	岡山大	4名
東京農工大	1名	徳島大	6名
一橋大	1名	高知大	1名
横浜国立大	1名	九州大	5名
富山大	2名	九州工大	1名
金沢大	4名	熊本大	2名
福井大	1名	大分大	1名
信州大	2名	東京都立大	1名
岐阜大	3名	石川県立大	1名
静岡大	4名	福井県立大	1名
名古屋大	12名	都留文科大	1名
		岐阜卓大	1名
		日本大	11名
		法政大	1名
		武蔵野美大	4名
		明治大	10名
		立教大	6名
		早稲田大	7名
		神奈川大	1名
		金沢工大	4名
		愛知医大	1名
		藤田医大	3名
		長浜バイオ大	4名
		京都外大	5名
		京都産業大	41名
		京都女子大	14名
		京都芸術大	1名
		京都橘大	17名
		京都薬大	30名
		同志社大	202名
		同志社女子大	28名
		佛教大	14名
		立命館大	501名
		龍谷大	130名
		京都美術工芸大	2名
		京都看護大	1名
		大阪医薬大	26名
		大阪芸大	1名
		大阪工大	4名
		関西大	47名
		関西西大	8名
		関西外大	10名
		近畿大	94名
		摂南大	12名
		藍野大	1名
		大和大	18名
		関西学院大	37名
		甲南大	1名
		神戸薬大	3名
		兵庫医大	1名
		武庫川女子大	1名
		岡山理大	2名
		福山大	1名
		(その他)	
		防衛大学校	1名
		防衛医科大学校	1名

\*3月24日までの判明分  
\*過年度卒業生を含む

## 「石鹿文庫」寄贈図書

編著者名	書名・巻次(版次)	収録略
竹安邦夫	編著	生きる倫理・生きる倫理
船橋新太郎	執筆	・依存学とはじめ
山本 新太郎	執筆	・MBA娘殺人事件
浦谷 政夫	執筆	・歌集柿の木
藤田和生	執筆	・感情科学
船橋新太郎	執筆	・記憶と脳
久保田親	執筆	・「軍学共同」と安倍政権
船橋新太郎	執筆	・「ころろ」への挑戦
河合俊雄	執筆	・サイエンスのつぼみ(動物研究室)
船橋新太郎	執筆	・NHKサイエンスライブラリー
船橋新太郎	執筆	・船橋新太郎 他編
船橋新太郎	他編	・情と意の脳科学
船橋新太郎	他編	・情動と意思決定
木 田 昌志	執筆	・「親愛の人の教え」その真実
船橋新太郎	執筆	・前頭葉の謎を解く
村尾 俊一	執筆	・創造性と戦略
山本 御稔	執筆	・受け継がれる「サイエンス」の歴史
宇阪直行	執筆	・脳とワーキングメモリ
望月政嗣	執筆	・バイオプラスチック技術の最新動向
望月政嗣	執筆	・PERPETIVES IN NEUROETHOLOGY
船橋新太郎	執筆	・Representation and Brain
船橋新太郎	執筆	・イタリヤ歌曲の本(CD)
船橋新太郎	執筆	・葡萄色の午後(CD)
船橋新太郎	執筆	・ヤナーチェクヴァイオリン・ソナタ(CD)

## コロナ禍下の膳所高校(続)

膳所高校総務課 加藤 徳彦

年度当初から休校措置となった令和2年度が改まり、令和3年度は、感染防止に留意しながらも学期をスタートしました。第四波、第五波を乗り越え、年末には収束の期待も高まったものの、年明けから更に感染力の強いオミクロン株による第六波の為、新たな対応を迫られる日々です。このコラムも「続」と題して、現在の状況をお伝えしなければならなくなったことを残念に感じます。

令和3年度は春季、秋季の県高校総体、高校総文祭は様々な感染対策を取りつつ可能な範囲で実施できました。湖風祭をはじめ校外の各種行事も同様の対応で実施。昨年度は変更、延期を繰り返し最終的に中止となった修学旅行も、12月16日・18日には九州方面で実施。少しずつ通常に近い生活に戻りつつありました。

しかしながら令和4年明けからは第六波の拡大と共に、班活動に対して宿泊合宿や県外校との練習の自粛などの規制がかりました。また生徒の中にも濃厚接触の可能性のある者が出たことに伴い、教室での対面授業を進めながら自宅待機中の生徒にネット同時配信を開始。そのクラス数が増え職員室はモニター・パソコンが並びテレビ局さながらの様相です(写真参照)

SSH事業の一つである「サイエンス・プロジェクト」の締めくり行事である海外研修(3月実施)も、海外での実施は困難と判断、つくばでの国内研修で準備をすすめていたものの、まん延防止等重点措置の延長を受け実施直前に中止を決定しました。

4月の新入生は全員タブレット・パソコン購入が義務付けられ、その効果的な活用方法の模索も始まっています。

教員対象にはロイロノート(学習用アプリ)の活用研修を繰り返しています。なかなか混乱の収まらない中、新たな対応が求められる日々ですが、学校としての対策はしっかりとすすめてゆきたいと考えています。



職員室にならんだモニター・パソコン(各教室の授業を映して配信中です)

## 編集後記

「温故知新」・JUNGIDOの編集においては、創刊以来、脈々と受け継がれ築き上げられてきた紙面を大切に守りつつも、急激に変化してゆく社会に対応できるように心がけています。今回は記事に対応したQRコードを掲載し、同窓会のHPや、記事で紹介した活動の動画をご覧いただけるようにしました。この紙面を通じて、皆様にとって膳所高校、膳所高校同窓会をより身近なものに感じていただければ幸いです。